

2016年度第8回役員会議事概要報告

日時 2017年2月1日(水) 19:00~22:20

場所 アステックむろまち

出席) 泉 大石 大塚 斉藤 下村 知名 西村 平山 松本 宮崎 東森 欠席) 橋本

司会) 東森・大石 書記) 斉藤

1) 事業

報告

○2017年度役員選挙のために選挙管理委員会を設置し、選挙管理委員3名を任命した。

日時 2017年2月1日 設置場所 京都市北部障害者地域生活支援センターきらリンク

予定

○2016年度京都精神保健福祉士協会初任者研修

日時 2017年2月18日(土)~2月19日(日) 会場 ハートピア京都

○医療観察法学習会 公開学習会『参与員の意義・役割』~参与員からみた医療観察法~

日時 2017年2月3日(金) 19時00分(受付18時30分) 場所: キャンパスプラザ京都 会議室2

講師 熊取谷晶さん(京都府精神保健福祉総合センター)、西川健一さん(おおつ働き・暮らし応援センターはっち)

対象 京都精神保健福祉士協会会員※

○2016年度第2回 倫理委員会

日時 2017年3月15日(水) 19:00~20:30 会場 ハートピア京都 第1会議室

2) 対外関係

報告

○京都市障害支援区分判定等審査会 委員推薦依頼(7名) 2017年2月15日締切
→7名方より、了承を得る。現在推薦名簿を作成中。

○京都新・生存権裁判 第8回公判

日時 2017年1月26日(木) 13:30~

原告1名(全身性障害)が意見陳述を行った。弁護団から厚労省の基準引き下げの根拠とした計算式は総務省が使用している標準的のものではなかった。あくまでも物価が下がったということ在意図的に出すことができる計算式だったと指摘。裁判の進行は佐賀、東京が先行している。そろそろ憲法25条に違反しているということを述べていく方向。各地裁レベルの弁護団がつながって勉強したりしている。

○シンポジウム「相模原殺傷事件から半年—なにが問題か?あなたならどうする?」

日時 2017年1月26日(木) 13:30~17:00(13:00開場) 場所: 立命館大学国際平和ミュージアム中野ホール

参加 参加自由・無料。手話通訳あり。

主催 〈相模原殺傷事件から半年—なにが問題か?あなたならどうする?〉実行委員会

主催者の発表で250名ほどの参加者となった。(PSM関係はあまり多くなく、きょうされん関係の方が多かった。)竹内章郎さんの講演からは優生思想について、様々な角度から話され、克服は難しいもののいろいろな考え方のヒントをいただいた。

シンポジウムでは精神障がいのある当事者、知的障がい者の家族二人、学生さん、弁護士、PSW(当協会会長)の6名がシンポジストであった。報道も新聞社が何件か来ていた。NHK ネットメディアから取材があった。

○京都市精神保健福祉審議会 担当 大塚

日時 2017年1月30日 13:30~15:30 会場 職員会館かもがわ

京都市の自殺対策のプランが今年度で終了のため、改訂にあたって意見を求められた。

地域定着支援事業の報告は、事業があまり広がらない状況となっていると報告があった。

相模原事件の国の報告について、対策案を国が考えているところなので京都市は見守っている状況であると説明があっ

た。

○障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会 第47回定例会議 担当 齊藤 欠席
日時 1月19日(木) 13:30~16:30 場所 京都市多文化交流ネットワークサロン

予定

○平成28年度地域福祉権利擁護事業に係る関係機関・団体等との情報・連絡会議(拡大会議) 出席 齊藤
日時 2017年2月24日(金) 13:30~16:00
会場 真宗教化センター しんらん交流館 1階「会議室ABC」

3) 各部より

□研修部

日時 2017年1月12日 19:00~21:00 場所 アステックむろまち
参加者 大石・田之口・知名・服田・宮崎・森田・湯浅(からしだね、新委員)
内容)
1, 初任者研修の準備
2, 2府4県研修の今後について
3, 3月例会について

初任者研修は、講師とのやりとりや当日のタイムテーブル作成がすこし遅れている。
2府4県の研修に関して、毎月大阪などに会議に行くのは負担が多く厳しい。各都道府県ごとに担当する方がやりやすいと意見があった。3月例会のことは、初任者研修のことで手が回らず、次年度に延期をとした。

□通信情報部

きょうと通信委員会

きょうと通信120号。三役校正は2月4日からの予定。

HP委員会

サーバーの乗換の作業中。WEBメール

□権利擁護委員会

24日予定していたが事情により延期に

□障害者福祉制度委員会

「京都市の子ども若者はぐくみ局創設に伴う保健センターと福祉事務所との統合等に関する再度の説明の概要」

日時 2017年1月23日 場所 京都市障害保健福祉推進室内会議室

参加者 京都市 2名 京都ユーザーネットワーク 4名 京都精神保健福祉推進家族会連合会 1名
京都精神神経科診療所協会 1名 京都精神保健福祉施設協議会 4名 当協会 1名(他団体と兼務)

保健センターの訪問活動について質問があり、市からの回答としてデータ上ではそれ程減ってはいないと説明があった。
部局の編成が変わることで障害児はどうなるのかという質問にも回答もあった。

□実習検討委員会

1月13日に新年会を開催した。委員会の名称変更を含めて委員の拡大を考えている。新任の教育をグループで行い、そのグループを3年ほど継続する。

新任の教育的な内容を含む委員会とするのであれば、研修部との兼ね合いもあるので組織内での位置づけや実習を研究する部分はどうかを含めて検討してほしいと意見があった。

□倫理について考える委員会

日時 2017年1月24日 参加者6名

内容) 初任者研修プログラムについて、グループ分けと担当・当日の流れについて

□心神喪失者等医療観察法学習会

日時 2017年1月30日 19:00~20:30 場所 京都市中部障害者地域生活支援センターなごやか

内容) 2017年2月3日 公開学習の最終打ち合わせ

申込み) 27名の参加(学習会メンバーふくめ) 予定

□京都府支部担当 報告なし

□災害支援検討委員会

日時 2017年1月13日 参加者9名

内容) 災害対策計画案について検討

□事務局

入会審査・退会審査

該当者無し

2月1日現在 355名

□会計

特になし

4) その他

対外関係

○平成28年度地域福祉権利擁護事業に係る関係機関・団体等との情報・連絡会議(拡大会議) 出席 斉藤

日時 2017年2月24日(金) 13:30~16:00

会場 真宗教化センター しんらん交流館 1階「会議室ABC」

内容 1) 地域福祉権利擁護事業の今日的な特徴と課題について

2) 京都府域における権利擁護・成年後見制度のあり方について

○きょうされん第41回全国大会実行委員会 参加依頼(回答3月3日まで)

日時 2017年3月10日(金) 10:00~12:00 会場 ハートピア京都 大会議室

実施 2018年9月

実行委員会の時間帯の設定がなかなか厳しいところがある。全国大会の運営に携わるのは人的にもなかなか厳しい所はある。→参加する場合の具体的な役割を確認するとともに他団体の姿勢なども参考に検討していく。

事業・各部より

○研修部

・次年度以降の「近畿2府4県PSW合同研修会」の運営については、研修部でも改めて話し合い、意見まとめる

○初任者研修について

初任者研修のグループ分けについて参加者一覧(案)を確認した。

各グループに記録係を必要とするので、役員にもお願いする。

○災害対策計画案について

日本協会から示されたひな形をもとに、災害支援検討委員会での検討や合同委員会での意見を踏まえた。

次年度総会で提案という形で発表を予定している。

支部対策委員のメンバーは日本協会災害対策委員として登録されている。そして日本協会の災害支援MLにも登録している。対策委員・災害時連絡委員ともに任期を2年と考えている。

役員会では計画案については、災害時の役割、対策本部の設置などについて意見があった

○次年度の運営体制について

※役員改選(選挙管理委員会は2月1日、選挙告示3月1日)

選挙管理委員会は、京都市北部障害者地域生活支援センターきらリンクに設置となった。

2月1日付で3名の委員を委嘱となります。

○総会記念講演会について（5月28日）

会員からの意見はほとんどなかった。現在8名ほど候補があがっている。
→役員会の開催時間の限度となり、メールでの意見集約とした。

○3月例会について

加美先生（佛教大）より、救護施設の歴史やホームレス支援について話題提供をいただき、ホームレス支援の流れや、救護施設入所者の高齢化重度化（精神障害の方が多）などを触れていただく予定。京都社会福祉士会、京都医療ソーシャルワーカー協会とも共同開催出来ればと考えている。

救護施設は精神障害の長期入院の方の退院先となっている実情があるので、京都市が設置計画は注意が必要なところである。

その他

○2015年度会計報告・2016年度予算案 修正について

会計監査には報告が必要。お詫びの文書の修正通信掲載することとする

○通信の郵送発送のこと

今年度は試行期間として郵送としたが、以前行っていたメール配信での方法と比較してどのように考えているか会員に意見を求める。）その上で次年度も継続かを検討する。

次回役員会 3月 22日